

尻別川で水辺の安全講座 を開催しました



講師の説明を聞く児童達



スローバックを投げる練習です



水深が最大30cmの川岸を約20m歩きました



川底は藻などに覆われ滑りやすくなっています

スローバックレスキュー

水辺で溺れ救助を求める要救助者へ岸からロープの入ったバックを投げて捕まらせ、岸辺へ引き寄せて救出を行う方法。通常バックの中に浮く素材で作られたロープが約15～20m入っている。



8月1日(木)、蘭越町民センター(室内講習)及びランラン公園(野外実習)において、小学生を対象とした水辺の安全講座が行われました。

室内講習では、「川の特性や川で活動するうえでの身の守り方」について、DVD鑑賞やグループ討議を行い、その後行われた野外実習では、スローバックの使い方と浅瀬の歩き方を体験しました。

参加した児童達は、貴重な体験に目を輝かせていました。